

令和2年度 宮代町国民健康保険特別会計予算の概要

宮代町住民課

1. 概要

(1)令和2年度予算は、歳入歳出総額36億2,950万円、対前年度比5.5%の減額。

被保険者数の減少及び医療費の適正化の推進により保険給付費が減少し、昨年度と引き続きマイナス予算となった。令和元年度は税率改正を実施し、税収の確保に努めた結果、一般会計からの法定外繰入金(赤字補填)が対前年度比約5,400万円のマイナスとなり、赤字解消に向けて大きく前進した。

(2)歳入では、国民健康保険税が対前年度比2,671万6千円、率で3.7%の減となり、また、県支出金においても保険給付費の減少に伴い、対前年度比1億2,190万7千円、率で4.4%の減となっている。

(3)歳出では、医療費の減少に伴い保険給付費が対前年度比1億339万7千円、率で3.7%の減となっている。

事業内容では、被保険者証と高齢受給者証の一体化が8月から令和3年3月にはマイナンバーカードの健康保険証利用もスタートし、被保険者の利便性が向上する。また、赤字の解消に向けて県の標準保険税率を踏まえて令和3年度の税率改定に向けて検討を進める。

(4)保健事業では、令和2年度から令和5年度を期間とする第2期宮代町データヘルス計画の初年度として引き続き特定健康診査やがん検診の受診率の向上、ジェネリック医薬品の普及、糖尿病性腎症重症化予防に取り組む。

■主な取り組み

★:新規事業 ◎:拡充事業 △:見直し

法定外繰入れ(赤字)の解消に向けて

△保険税率等の見直し

赤字解消計画に基づき、法定外繰入金の解消に向けて令和3年度の税率等の見直しを実施する。

★被保険者証及び高齢受給者証の一体化の円滑な実施

令和2年8月から70歳以上の被保険者証及び高齢受給者証の一体化を実施

対象 約2,400人

健康寿命の延伸 -データヘルス計画の推進-

◎特定健診・特定保健指導の実施率の向上

特定健診実施率目標51%、特定保健指導実施率目標41%を目指して、受診勧奨を実施する。

4,466万7千円

◎ジェネリック医薬品の普及・啓発

ジェネリック医薬品の普及・啓発を図り、医療費の適正化に努める。

利用率目標 県市町村平均以上 30年度 市町村平均77% 宮代町74.9%

18万6千円

◎糖尿病性腎症重症化予防対策事業

糖尿病性腎症を起因として慢性腎不全(透析)へ移行する被保険者を減少させるために危険因子を持つ被保険者へ保健指導を実施し、状態の改善を図る。

373万円